

WYSIWYG HTMLエディタ搭載スマホ完全対応版 contents playerの機能と改訂マニュアル

正規版ver4.6

- 今後も機能拡張や修正により、内容が変更される場合があります。(2019/4/27現在)
- WYSIWYG HTMLエディタの利用にはWYSIWYGパッチ適応済みの必要があります。

 画像部位	■ スマホ時代の画像サイズ指定はPX(ピクセル)指定から%(等分)へページを構成するBOXと画像サイズの基本/画像の登録方法	1-
 本文部位	■ 文字サイズ・太さ・色。CP文法を施す事で、表現が豊かになります。本文部位の配置一覧	2-
 見出部位	■ SEO的な重要度も高い見出し。装飾を切り替えてサイト表現を強化。見出部位の装飾一覧	3-
 表組部位	■ デザイン化された表組みを効果的に利用してサイトを見やすく。表組部位の装飾一覧	4-
	BOXの背景機能①(汎用BOX)/②(特殊BOX)	5-
[新機能]	WYSIWYG HTML エディタ機能/基本知識	6-1-
	[本文]部用ツールバーの解説①～⑥	6-2-
	[画像]部用ツールバーの解説/枠拡張CP文法①～⑥	6-3- 6-4-
	[タグ]部用ツールバーの解説①～④	6-5-
	[メニュー関連]グローバル&サイドメニューの装飾/	7-1
	[上級機能]タグによるの特殊機能/	8-1
	[新機能]テンプレートを編集する機能	9-1
	エディタ使用上の注意/ WYSIWYG機能は、HTML生成補助ツール	10-1



画像部位

■ 画像サイズの指定はPX(ピクセル)指定から%(等分)指定へ

iPhoneやAndroid系スマホやタブレットなど様々なデバイスの表示を可能にするため、従来の固定された画像サイズ指定であるピクセルを%指定で制御します。



subBOX及びmainBOX1~4の全幅(100%)に対して画像の横幅を指定します。

装飾タイプ	PC&タブレット時の横幅	スマホ480px以下の横幅
初期に設定された画像装飾	BOX幅1/1(max100%) ※画像下に余白無 横幅100%未満の画像を登録した場合は、原寸中央揃えとなります。	BOX幅1/1(100%) ※画像下に余白無
画像サイズ01	BOX幅1/1(100%)	BOX幅1/1(100%)
画像サイズ02	BOX幅1/2(50%)	BOX幅1/1(100%)
画像サイズ03	BOX幅1/3(33.3%)	BOX幅1/2(50%)
画像サイズ04	BOX幅1/4(25%)	BOX幅1/2(50%)
画像サイズ05	BOX幅1/5(20%)	BOX幅1/2(50%)
画像サイズ06	BOX幅1/1(100%) 画像サイズが1/6(16.6%)	BOX幅1/1(100%) 画像サイズが1/2(1%)

初期設定サイズ
(1/1)

画像部位の下に
余白が無い



横幅708px未満の画像は
原寸(自動拡大されません)中央揃え
横幅708px以上は、幅100%に縮小

画像サイズ01
(1/1)



↑ 01~06の画像サイズの下には余白があります。

画像サイズ02
(1/2)



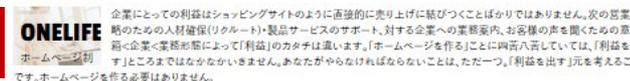
画像サイズ03
(1/3)



画像サイズ04
(1/4)

画像サイズ05
(1/5)

画像サイズ06
(1/1)画像1/6





ページを構成するBOXと画像サイズの基本

コンテンツを作成するためにページのサイズを把握します。

スマホ対応版contents playerのサイト基本寸法

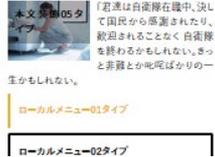


navil領域

※ローカルメニュー=00タイプ
※言語は設定可能、名前はまだ無い。



mainBOX領域



1ページはsubBOX(1)・mainBOX(4つ)、計5つのBOXで1ページは構成されています。



ページは、3つのBOXレイアウトパターンを持っています。編集中でも、BOXレイアウトを変更すると、ページは変化します。





画像の登録方法①

目安になるサイズで画像を登録しておけば、後々サイズの変更は、「画像サイズ」を変えるだけです。

- ① スマホやデジカメ、フリー素材で画像を用意します。



【注意】高画質の画像をそのままアップロードするとサイトの読み込みが遅くなりますので、必ずリサイズして下さい!!

- ② 画像をリサイズ

Ps

フォトショップ等の画像加工ソフトで右の基本寸法を参考にリサイズします。

画像ソフト使わず
ファイルを直接リサイズします。

③ 参照... ファイルが選択されていません。 ファイルをアップロード。

④ 画像の説明を入れます

⑤ 画像サイズ02

⑥ 画像下に文章を入れる場合は、文章を入力し装飾します。
※必要ない場合は、この工程をパスして下さい。

⑦ 内容を反映し実行する

目的に応じたリサイズ

③

リサイズ/幅708px(mainBOX全幅)
リサイズ無/サイズそのまま
リサイズ/幅708px(mainBOX全幅)
リサイズ/幅342px(mainBOX・1/2)
リサイズ/幅220px(mainBOX・1/3)
リサイズ/幅159px(mainBOX・1/4)
リサイズ/幅98px(mainBOX・1/5)
リサイズ/幅992px(subBOX全幅)
リサイズ/幅484px(subBOX・1/2)
リサイズ/幅315px(subBOX・1/3)
リサイズ/幅315px(subBOX・1/4&アイキャッチ)
リサイズ/幅315px(subBOX・1/5&アイキャッチ)
リサイズ/幅496px(header用・1/2)
リサイズ/幅248px(navil全幅)

利用が多いのは、
■ 708px(mainBOX全幅)
■ 342px(mainBOX・1/2)
■ 992px(subBOX全幅)

画像の容量や品質に応じて、リサイズを活用して下さい。

- ⑤ リサイズしアップロードされた画像に対して、サイト上でどの大きさで表示するかを決定するのが「画像サイズ」です。

初期まま変更しない場合

画像サイズ02を選択(サイズ50%)

画像ファイルをアップロードした後、「画像サイズ」の変更で、サイト上の画像サイズはいつでも変更可能です。
リサイズ後の画像が小さい場合、大きくするとぼけますので、注意が必要です。





画像の登録方法②

ページレイアウトで重要な余白指定は、contents player内にあらかじめ用意されています。

■ 画像下の余白の取り方[基本機能]

画像部位のOPTIONを利用し、回り込みの有無で画像下の隙間の大きさが変わります。一区切り段落を開きたい場合は、**回り込みしないの初期設定**を使用して下さい。

OPTION 画像のサイズ(横幅等分)を指定します

▶ [画像]部位の横幅 ※画像を次の部位に対して回り込みさせたり、画像の幅幅を設定することができます。

画像サイズ02

回り込みしない(初期設定) 画像を左に表示 画像を右に表示

初期設定及び画像サイズ01~06の**右左回り込み有**

画像サイズ01~06の**右左回り込み無**

初期設定の**右左回り込み無**



※初期設定装飾で、回り込みしない場合のみ、余白はありません。画像をくっつけて並べる時に便利です。

■ 回り込みについて

HTMLにおける「回り込み」の指定には特有の規則があります。この規則を把握することでレイアウトがスムーズに行えます。

「回り込み」を指定せず、2つの画像を登録すると上下に並びます。



Aに対して、次の部位であるBを回り込みさせるため「回り込み指定」をする。



次の部位であるCが本文の場合は、新聞や雑誌のように流し込みになります。





画像の登録方法③

デバイスに応じた2枚の画像を用意することで、表示切替が可能になります。

■ PC&タブレット用とスマホ用の画像を切り替える[CP文法]

画像部位(画像+文章のセット)をまるごとデバイスに応じて表示を切り替えます。

横長で使うことの多いPCでは、横対比の大きい画像を使います。しかし、縦長で見る事の多いスマホで見た場合、画像が小さく感じます。スマホ用に縦長の画像を用意することで解決することができます。

PC&タブレット用画像とスマホ用画像を切り替える。

PC&タブレット用の横型の画像と文章



元画像W798px×H468px

縦長で使うことの多いPCでは、横対比の大きい画像を使います。しかし、縦長で見る事の多いスマホで見た場合、画像が小さく感じます。スマホ用に縦長の画像を用意することで解決することができます。

表示切替

PC&タブレット用画像とスマホ用画像を切り替える。

スマホ用の縦型の画像と文章



元画像W348px×H348px

PC&タブレット用画像とスマホ画像を用意することで、見やすさの追求するばかりでなく、スマホでご覧の方へのアプローチやキャンペーン画像を表示させる事が可能です。

480px以下のスマホで表示!

▶ 画像の説明

※画像に対する説明文です。ALTに相当

[PC用画像]画像の説明

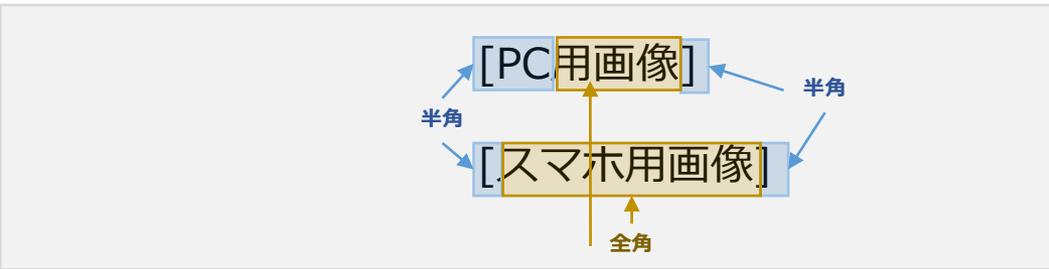
キャプションなし(初期設定) キャプション

▶ 画像の説明

※画像に対する説明文です。ALTに相当

[スマホ用画像]画像の説明

キャプションなし(初期設定) キャプション



PCで表示する画像部位とスマホで表示する部位を別々のモノにすることプロモーションにも使えます。



PC用とスマホ用の画像を2枚用意します。

管理画面で、分かりやすいように[画像]部位を並べておくと便利です。

CP記号	表示と非表示のタイミング
[PC用画像]	481px以上のデバイス
[スマホ用画像]	480px以下のデバイス

本文部位

■ **基本文字サイズ+配列にCP文法を施す事で、表現が豊かになります。**
 従来文字を装飾する場合やタグを挿入していましたが、予め決められた特定文字(CP文法)を入れる事で、文字の大きさや色、それらの背景色などが指定できるようになりました。

初期設定 装飾	<p>初期設定された本文装飾タイプ00…初期色/左揃え本文中に強調したい文字列があれば、強調タグを使用する事がします。 本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。 LINK 詳細はこちらをご覧ください。</p> <p style="text-align: center;">左揃え</p>
本文装飾 01	<p>本文装飾タイプ01…[初期設定された本文装飾]と同じ、1行リンクの形状が違います。 本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。</p> <p style="text-align: center;">中央揃え</p>
本文装飾 02	<p>本文装飾タイプ02…[本文]部位自身が中央揃えとなります。 本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。</p> <p style="text-align: center;">中央揃え</p>
本文装飾 03	<p>本文装飾タイプ03…[本文]部位自身が右揃えとなります。 本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。</p> <p style="text-align: center;">右揃え</p>
本文装飾 04	<p>本文装飾タイプ04…新聞記事のように2段で処理され、1行の流し込みが行われます。 本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。</p>
本文装飾 05	<p>本文装飾タイプ05…全幅に対して横幅50%でブロック化されます。 本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。</p> <p style="text-align: center;">50%ブロック化 回り込み有</p>
本文装飾 06	<p>本文装飾タイプ06…左右に48pxの余白を持ったレイアウト 本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。</p> <p style="text-align: center;">左右に48pxの余白</p>

本文の編集

■ 本文装飾タイプ01…[初期設定された本文装飾]と同じ、1行リンクの形状が違います。
 本文テキストには文字色・文字の大きさ・斜体・インデントを初めとする書体装飾を始め、段落ごとに文字の背景色や枠線を使用して、編集する事が出来ます。本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。

CP EDITOR画面

OPTION 本文に装飾(スタイル)を設定できます

[本文]部位の装飾

本文装飾01

続けて部位を表示しない(クリア:初期設定) 続けて部位を表示する

▶ [本文]部位の装飾

※本文の色やサイズを変更することができます。

本文装飾01

続けて部位を表示しない(クリア:初期設定) 続けて部位を表示する

本文装飾タイプ01…[初期設定された本文装飾]と同じ、1行リンクの形状が違います。
 本文テキストには文字色・文字の大きさ・斜体・インデントを初めとする書体装飾を始め、段落ごとに文字の背景色や枠線を使用して、編集する事が出来ます。本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。

下余白が大きい(24px)

本文装飾タイプ01…[初期設定された本文装飾]と同じ、1行リンクの形状が違います。
 本文テキストには文字色・文字の大きさ・斜体・インデントを初めとする書体装飾を始め、段落ごとに文字の背景色や枠線を使用して、編集する事が出来ます。本文中にリンクを設定したい場合は、リンクタグを用いる事もできます。

下余白が小さい(12px)

本文 本文部位の一行リンクの設定

本文部位には、予めひとつのリンクボタンが用意されています。

改行したい場所にCP文法「¶(だんらくで変換される記号)」を入れると改行されます。

OPTION 本文の最後に一行のリンクを設定することができます。(関連リンクや参照URL等に応用できます)

▶ 1行リンクの設定

※3つの選択数からひとつを選んで下さい。リンク先を設定する事ができます。
 ※外部リンクを選択した場合は、http://www. のURLを入力して下さい。

▶ 文字設定 改行用記号 ¶

改行したい場所に「¶」を入れます。

○リンク先指定 ME

○外部リンク

○ファイル指定 ファイルが選択されていません。

CP文法の指定が無い場合の一行リンク

LINK サイト専用CMSの詳しい活用方法はサポートページへ。

CP文法「¶」の指定がある場合の一行リンク

LINK サイト専用CMS
の詳しい活用方法はサポートページへ。

先頭に色指定のCP文法を入れる事で、ボタンの色を変更することができます

▶ 文字設定

先頭に色指定CP文法



LINK サイト専用CMSの詳しい活用方法はサポートページへ。



見出部位

■SEO的な重要度も高い見出し装飾を切り替えてサイト表現を強化。

タグやSPAN系CP文法を挿入して文字の大きさや色を変更可能です。

CP文法を使用しない状態の[見出]部位

[見出]部位で、選択された「初期設定された見出装飾」タイプ	初期装飾
[見出]部位で、選択された「見出装飾01」タイプ	見出装飾01
[見出]部位で、選択された「見出装飾02」タイプ	見出装飾02
[見出]部位で、選択された「見出装飾03」タイプ	見出装飾03
[見出]部位で、選択された「見出装飾04」タイプ	見出装飾04
[見出]部位で、選択された「見出装飾05」タイプ	見出装飾05
[見出]部位で、選択された「見出装飾06」タイプ	見出装飾06

初期設定された見出装飾
[見出]部位で、選択された「初期設定された見出装飾」タイプ

見出装飾01
[見出]部位で、選択された「見出装飾01」タイプ

見出装飾02
[見出]部位で、選択された「見出装飾02」タイプ

見出装飾03 [見出]部位で、選択された「見出装飾03」タイプ

見出装飾04 [見出]部位で、選択された「見出装飾04」タイプ

見出装飾05
[見出]部位で、選択された「見出装飾05」タイプ

見出装飾06
[見出]部位で、選択された「見出装飾06」タイプ

■色指定用CP文法を挿入して[見出]部位の装飾を変える。

▶見出し文書 ※オプションで画像を指定した場合、ALTに相当します。(マウスオーバーした時に表示される文書)

@R 初期設定された見出装飾@[見出]部位で、選択された「初期設定された見出装飾」タイプ

例:色指定用のCP文法「@R」と「@」で範囲を指定すると赤色系に変わります。

▶見出し文書 ※オプションで画像を指定した場合、ALTに相当します。(マウスオーバーした時に表示される文書です)

@R 初期設定された見出装飾[見出]部位で、選択された「初期設定された見出装飾」タイプ

例:色指定用のCP文法「@R」に入れ、閉じ記号が無い場合は、全体が赤系に変わります。

初期設定された見出装飾[見出]部位で、選択された「初期設定された見出装飾」タイプ

見出装飾01[見出]部位で、選択された「見出装飾01」タイプ

見出装飾02[見出]部位で、選択された「見出装飾02」タイプ

見出装飾03[見出]部位で、選択された「見出装飾03」タイプ

見出装飾04[見出]部位で、選択された「見出装飾04」タイプ

見出装飾05[見出]部位で、選択された「見出装飾05」タイプ

見出装飾06[見出]部位で、選択された「見出装飾06」タイプ

改行用記号 ※オプションで画像を指定した場合、ALTに相当します。(マウスオーバーした時に表示される文書です)

[見出]部位で、選択された「見出装飾01」タイプ

改行したい場所にCP文法「¶(だんらくで変換される記号)」を入れると改行されます。



表組部位

■デザイン化された表組みを効果的に利用してサイトを見やすく。
 スマホ時代のレイアウトは、デバイスに応じて表示サイズが可変します。可変に不向きなテーブルを可変可能にしました。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	▶一行リンクの設定
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

初期装飾

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	▶一行リンクの設定
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

表組装飾01

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	▶一行リンクの設定
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

表組装飾02

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	▶一行リンクの設定
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

表組装飾03

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	▶一行リンクの設定
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

表組装飾04

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	▶一行リンクの設定
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

表組装飾05

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	▶一行リンクの設定
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

表組装飾06

■スマホで表組みが可変します。

PCで最適に作られた表も縦長のスマホサイズ(480px以下)で見ただけ見づらくなります。表の配列を並び変えることで見やすさを追求しています。

装飾タイプ名	スマホ可変 480px以下
初期に設定された表組装飾	×
表組装飾01	○
表組装飾02	○
表組装飾03	○
表組装飾04	○
表組装飾05	○
表組装飾06	○

PC用からスマホ用配列への並び順ルール

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え)	▶一行リンク
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

PC配列

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え)	▶一行リンク
-----	----------------------------	--------

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

スマホ配列

注意

固定レイアウトから可変レイアウトへ

※テーブルによるレイアウトはなるべく避けて下さい。

5インチ等のスマホを縦表示で見る事多い現在、テーブルによるレイアウトは、極力使用しないで下さい。

どうしても場合は、スマホ可変しない初期に設定された表組装飾を使用して下さい。

デバイスによる様々な画面サイズ





表組部位のCP文法①

●部位のレイアウトに関する仕様及び、CP文法(特殊記号)の挿入により、部位自体の装飾やレイアウトを変更する事が出来ます。

■ 表組を更に装飾したり、機能を付加します[CP文法]

情報を整理するのに便利な表組にスクロールや行の交互表示や全体に色を配置する機能が増えます。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	》一行リンク
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	

空のセルには薄いグレーが入ります。

表組のタイトル **先頭に色指定CP文法** セルが、表の意味を伝えるタイトルを入力してください。

@ R [表組]部位装飾01タイプ

縦横セルの設定 ※作成する表の行と列を設定してください。(最大12列×31行の表を作成できます)
※表を使用しない場合は表の縦または横の設定を0にしてください。表が削除されます。
※表の縦(;)・列(・)・横(行)のいずれかを0にすると生成した表が削除されます。(※注意)

表の縦(行) 表の横(列)

[scroll □]

表を縦にスクロール

Scroll200
Scroll300
scroll400

スクロールバー表示

指定の高さ分表示

下に長くなりがちな表の一部を見せてスクロールする時に便利。指定した数字(200,300,400)のPX分だけ表示します。

[注意]表内の文字が折り返しを含め、フルに入力されていないと、表の横幅が100%で表示されません。

[□ %]

66% (2/3幅)
50% (1/2幅)
33% (1/3幅)

通常100%の横幅を変更

■ CP文法により色変更された[表組]の例

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	》一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	》一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	》一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	》一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	》一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。

項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(初期:左揃え) ※管理画面で表罫や文字の色が変更可能です。	》一行リンクの設置
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(中央揃え)	行列の増減可能
項目名	セルの中に本文・画像を設定できます。(右揃え)	個別にセル色変更

表組とセットで、表の下に本文を挿入することができます。



表組部位のCP文法②

●部位のレイアウトに関する仕様及び、CP文法(特殊記号)の挿入により、部位自体の装飾やレイアウトを変更する事が出来ます。

■ 表組全体の背景色を変更します[CP文法]

表組のタイトル ※WEB上には表示されませんが、表の意味を伝えるタイトルを入力してください。

[WH] 表組全体の背景を指定するCP文法

縦横セルの設定 ※表を使用しない場合は表の縦または横の設定を0にしてください。表が削除されます。
※表の縦(;)・横(行)のいずれかを0にすると生成した表が削除されます。(要注意)

表の縦(行) 表の横(列)

[W] 
表の背景色指定

- [WH] 白
- [WR] 薄い赤系
- [WY] 薄い黄系
- [WG] 薄い黄緑系
- [WD] 薄い濃緑系
- [WB] 薄い青系
- [WN] 薄い濃紺系
- [WP] 薄い紫系
- [WM] 薄い赤紫系
- [WK] 薄い灰色

■ CP文法により色変更された[表組]の例

[WH] 半角英字	表全体が指定色の白に変更されます。
[WR] 半角英字	表全体が指定色の薄い赤系に変更されます。
[WY] 半角英字	表全体が指定色の薄い黄系に変更されます。
[WG] 半角英字	表全体が指定色の薄い黄緑系に変更されます。
[WD] 半角英字	表全体が指定色の薄い濃緑系に変更されます。
[WB] 半角英字	表全体が指定色の薄い青系に変更されます。
[WN] 半角英字	表全体が指定色の薄い濃紺系に変更されます。
[WP] 半角英字	表全体が指定色の薄い紫系に変更されます。
[WM] 半角英字	表全体が指定色の薄い赤紫系に変更されます。
[WK] 半角英字	表全体が指定色の薄い灰色に変更されます。

[□]
隙間指定

[WH] 半角英字	表全体が指定色の白に変更されます。
[WH] 半角英字	表全体が指定色の白に変更されます。
[WH] 半角英字	表全体が指定色の白に変更されます。

通常のボーダー**有**の指定

通常のボーダー**無**の指定

ボーダー有と同じ隙間が存在します。

[□] CP記号使用(隙間無し)

[■]
文字縮小指定

[WH] 半角英字	表全体が指定色の白に変更されます。
[WH] 半角英字	表全体が指定色の白に変更されます。

通常の表組内の文字

[■] CP記号使用(文字小)

BOXの背景機能① ●subBOX1つ、mainBOX4つ、計5つあるBOXの背景を適切に設定することでレイアウトに変化を与えます。

■汎用BOX指定[基本機能]

OPTION BOXの装飾(背景スタイル)を変更することができます。

BOXの背景設定

※BOXの背景装飾(スタイル)を選ぶことができます通常は初期設定のままです。

初期設定されたBOX背景(default)

初期設定されたBOX背景(default) 取り消して閉じる

汎用枠01(上隙間無し)

汎用枠02(背景A)

汎用枠03(背景B)

汎用枠04(背景C)

汎用枠05(背景D)

汎用枠06(背景E)

特殊枠01(自動均等)

特殊枠02(間隔狭)

特殊枠03(中央配置)

次ページ

BOX内パーツ色変更(赤系)

BOX内パーツ色変更(黄系)

BOX内パーツ色変更(黄緑系)

BOX内パーツ色変更(濃緑系)

BOX内パーツ色変更(青系)

BOX内パーツ色変更(濃紺系)

BOX内パーツ色変更(紫系)

BOX内パーツ色変更(赤紫系)

BOX内パーツ色変更(白系)

BOX内パーツ色変更(黒系)

[汎用枠02~04]は野と余白で構成されたBOX背景

汎用枠02(背景A)

汎用枠03(背景B)

汎用枠04(背景C)

汎用枠05(背景D)

汎用枠06(背景E)

初期設定には、背景色も枠もありません



画像に隙間の無い特異なBOX[汎用枠01]



[BOX内パーツ色変更]はBOX内の強調や囲み装飾・見出等の色を一度に統一する指定方法です。

通常のBOX内編集

BOX内を一瞬で色統一

→ 強調装飾05…先頭に矢印アイコンを付けて行範囲を強調します。

→ 強調装飾06…横円の二重枠で囲い範囲を強調します。

→ 強調装飾07…横円の白抜き文字で範囲を強調します。

BOXの背景機能②

●subBOX1つ、mainBOX4つ、計5つあるBOXの背景を適切に設定することでレイアウトに変化を与えます。

■特殊BOX指定[半自動レイアウト機能]

汎用BOX背景と同じ設置方法で、特殊BOXを設定。BOXごとに決められたレイアウトルールが存在し、通常編集のルールが一部無視されます。

部位を均等に揃えるBOX[特殊枠01(自動均等)]

画像をボックスの中央に揃える

縦の部位の隙間を自動計算し繋ぎます

画像の下にキャプションを設定

画像の下には、画像の横幅に合わせた解説用の文章を表示させる事が出来ます。また文字装飾も施すことができます。

1.[画像][本文][見出]部位を強制的に1/3にし、大きさの違う部位の間の隙間が埋まるように並べ替えます。

2.デバイスの横幅に応じて適切な縦サイズを計算します。

部位の順番は故意に決められません。

サイドメニュー無しBOXの場合は4列

スマホでは2列自動可変

部位の間隔を狭くするBOX[特殊枠02(間隔狭)]

[画像]部位の間隔が狭い

画像の下にキャプションを設定

画像の下には、画像の横幅に合わせた解説用の文章を表示させる事が出来ます。また文字装飾も施すことができます。

部位の間隔が6PXで狭いレイアウトが実現可能

どこで生れたかとんと見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番野蛮な種族であったそうだ。この書生というのは時々食を挿えて煮て食うという習性である。しかしその当時は何とも考へなかつたから別段恐いとも思わなかつた。ただ彼の掌に載せられてスーと持ち上げられた時何だかフワフワした感じがありがたかりである。掌の上で少し落ちて書生の顔を見たのがいわゆる人間というものに見ゆた。この時妙なものだと思つた感じが今でも残っている。第一毛をもって裝飾されべきはずの顔がつやつしてまるで美少年だ。その後顔にもだんぷ違つたがこんなる片輪には一層も出会つた事が無い。のみならず顔の真中があまりに突起している。そしてその穴の中から時々ぶらぶらと舌を覗く、どうも覗き過ぎて困つた。これが人間の故も運悪くというものである事はようやくこの頃知つた。

通常部位の間隔は24pxありますが、このBOXを選択すると[画像]部位の間隔が狭くなります。

通常部位の間隔は24pxありますが、このBOXを選択すると[画像]部位の間隔が狭くなります。

部位の中央揃えにするBOX[特殊枠03(中央配置)]

[画像]部位のみセンター配置

元画像横幅708PX

見出しは横幅100%で表示されます

BOXBG03タイプのページは、[画像]部位のみ、中心揃えとなり、ページレイアウトのアクセントとして利用出来ます。見出しと本文、表は全幅100%で表示されます。

画像の下にキャプションを設定

画像の下には、画像の横幅に合わせた解説用の文章を表示させる事が出来ます。また文字装飾も施すことができます。

[画像]部位が左右中心にならびます。画像以外の部位はセンターになりません。[本文]部位の場合は装飾タイプでセンターにして下さい。

基本知識①

■情報(画像や文章)を加工することで、ページの訴求力を増やす2つの手法。

ワープロソフトのような操作性と複雑な装飾を実現するマークアップ記号(CP分法)を実装しました。

現在、サイトを編集する際に用いられる手法として大きく二つ存在します。

①WYSIWYG EDITOR(ウィジウィグエディタ)を使用して**ワープロ感覚の視覚編集をする**。多くのブログサイトで用いられ、編集エリアにツールバーがあるのが特徴。**タグのミスが多い**。

②BBコードと呼ばれる特殊記号を使用し、文字を装飾する。WYSIWYG EDITORのような**視覚操作ではありません**が、wikiのようなテキスト系に優れた編集法。**タグのミスが少ない**。

スマホ版contents playerでは、**専用WYSIWYG EDITOR(CP EDITOR)**と**専用BBコード(CP文法)**の二つを利用して、ページを編集&デザインすることが可能です。

テキスト入力エリア内の編集には

専用WYSIWYG EDITOR CP EDITOR

専用設計されたCP EDITORでは、様々なブラウザで同一の書体表現を実現する**WEBフォント**の指定や最新**CSS3のスタイル**を適応して、装飾することができます。



一行入力エリアでの利用が多い

専用BBコード CP文法

複雑な装飾デザイン&レイアウトを簡略化された記号の組み合わせで表現可能にしたのがCP文法です。

※CP文法用の記号は、部位の種類により異なりますので、各部位の解説をご覧ください。

CP分法用の記号は**単純な全角文字**の組み合わせで構成されています。

※通常使用されることの無い記号に役割を与えています。本文中に使用しないで下さい。



上記の場合、**全①**が、CP分法記号になります。※全は「おなじ」で変換される**全角記号文字**です。

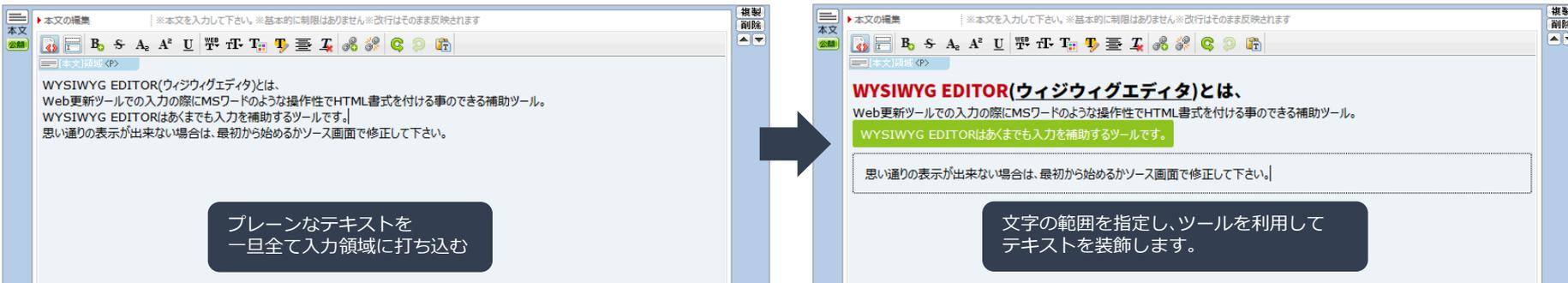
基本知識②

■見た目を気にしながら、**ワープロ感覚でサイトを更新する専用CP EDITOR。**
 WYSIWYG EDITOR(ウィジウィグエディタ)とは、更新の際にMSワードのような操作性でHTML書式を付ける事ができる補助ツールです。

■ 使用するための基本

①エディタ領域に一旦、全て文字を入力 ②その後、アイコンで装飾して下さい。

※WYSIWYG EDITORの特性上、入力しながら装飾挿入や装飾消去を繰り返すと、複雑なタグの入れ子が起こり、正常に表示されない状態が頻繁に起きますので、表示が崩れたら最初からやり直して下さい。



CP EDITOR画面



エディタ画面・ソースコード画面切替アイコン



HTMLソース画面

HTMLソース画面
 HTMLを理解している場合、手動によるソースコードの修正や追加ができます。
 不必要なタグや不足なタグがあると、ページの大きな乱れとなりますので、ご理解の上使用して下さい。
エディタ機能を使用中、カーソルが思う位置に動かなかったり、一旦キレイに消去したい場合は、ソースコード画面で、移動や全消去を行って下さい。

部位の特性を活かした3つのツールバー

[画像][本文][タグ]部位の入力の際、WYSIWYG EDITORが利用出来るツールバーが表示されます。ツールバーは部位固有の機能に応じて、利用できる機能が違います。

本文 [本文]部位専用ツールバー



※本文(テキスト)を装飾するのに特化したツール群のアイコン

画像 [画像]部位専用ツールバー



※画像に対する文章装飾に特化したツール群のアイコン

タグ [タグ]部位専用ツールバー

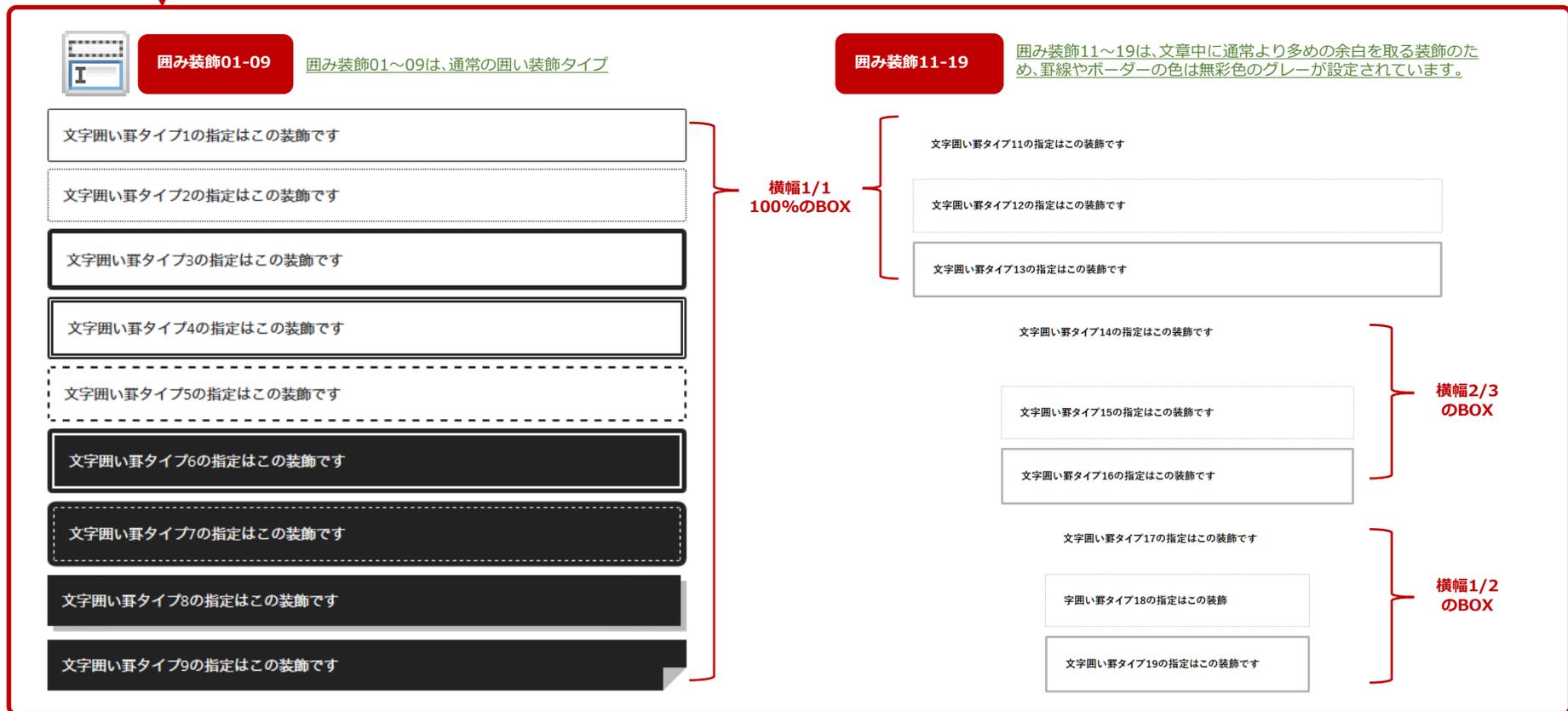


※本文と画像に対する装飾+特殊な機能や独自レイアウトを実現するツール群のアイコン

本文部位用ツールバー①

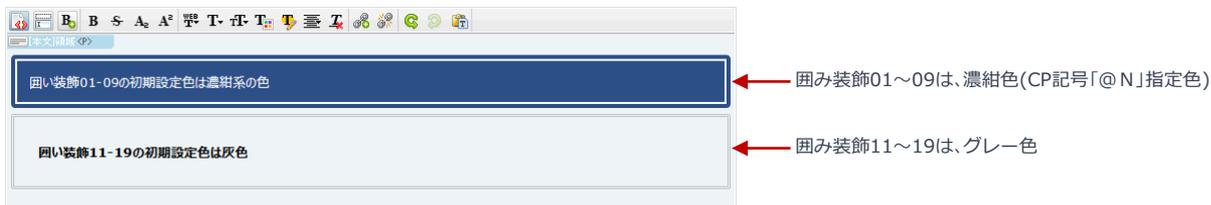
■文章をわかりやすくするための囲み罫や強調させる装飾を指定する。

文章を章ごとに囲ったり、指定単語を強調させるためのcontents player専用のCSSを施すことが出来ます。



CP EDITOR上では、左記の色でそれぞれ固定表示されます。

※実際のサイト上でも同様の色で表示されます。



本文部位用ツールバー②

■文章を強調させる装飾と<bold>装飾を指定する。

文章を章ごとに囲ったり、指定単語を強調させるためのcontents player専用のCSSを施すことが出来ます。



強調装飾00-09

指定された範囲を強調して装飾する機能

指定した範囲はを使用するため、SEO的に重要なキーワードや文章に使用するのが適切です。

強調装飾01...二重線のアンダーラインで範囲を強調します。

強調装飾02...マーカーペンのようなラインで範囲を強調します。

強調装飾03...文字に影(テキストシャドウ処理)を付けて範囲を強調します。

強調装飾04...先頭に角丸ボーダー付けて行範囲を強調します。

強調装飾05...先頭に矢印アイコンを付けて行範囲を強調します。

強調装飾06...楕円の二重枠で囲い範囲を強調します。

強調装飾07...楕円の白抜き文字で範囲を強調します。

強調装飾08...斜めスプライトを背景に白抜き文字で範囲を強調します。

1 強調装飾09...カウンター番号が付き、同じ強調装飾9に連続の番号が付きます。

2 強調装飾09...2つ目の強調装飾9でカウンター番号が2になる実例。

系の強調は、重要なキーワード等が含まれる場合に有効。
<bold>系の強調は、デザイン的な視覚表現をする場合に使用します。
※使い分けにご注意下さい。



太字

文字を太くする<bold>表記となります。
SEOに有効なではありませんので、ただ文字を太くしたい時にのみご使用下さい。



文字を太くする表記となります。

文字を太くする表記となります。



強調装飾00を指定

線も背景も無い「強調装飾00」を指定することで「太字」と同じ表記となり、効果も生まれます。



文字を太くする表記となります。

文字を太くする表記となります。

CP EDITOR上では、左記の色でそれぞれ固定表示されます。

※実際のサイト上でも同様の色で表示されます。



→ 強調装飾01-09の初期設定色は緑系の色

← 強調装飾01~09は、緑系の色(CP記号「@G」指定色)

本文部位用ツールバー③

■CP文法で「囲み装飾」「強調装飾」に特色8色を指定可能。

CP文法記号を使用する事で「囲み装飾」「強調装飾」にあらかじめ用意された個別の色を設定することができます。



通常の表示

初期状態

※CP記号を使用していない状態



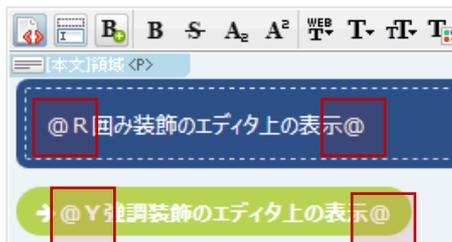
CP文法の指定がない場合は、デフォルト(初期設定)の色がサイトで表示されます。

囲み装飾のエディタ上の表示

→ 強調装飾のエディタ上の表示

CP記号を挿入する

CP記号を枠内の最初と最後に指定して色を変更します。



CP文法の指定がある場合は、記号に応じて色に変換されてサイトで表示されます。

囲み装飾のエディタ上の表示

→ 強調装飾のエディタ上の表示

「@」は開始の記号
 「R」は赤系文字を指定する記号
 「@R」と二文字セットにして先頭に挿入します。 「@」の一字で閉じるの記号となります。

@ R 囲み装飾のエディタ上の表示 @

全角@+全角アルファベット 全角@

入力した文字の前後に全角のCP記号を入れてくります。
 ※半角英数字・記号では動作しません。

色指定に使用するCP記号一覧

色指定用のCP記号は、

- 本文部位の「囲み装飾」「強調装飾」の他、
- 画像部位の「画像枠」
- 見出部位の「見出線」に使用することが出来ます。

※この基本8色は、「サイトのテンプレートを編集する」画面で、変更可能。

@ R	赤系
@ Y	黄色系
@ G	黄緑系
@ D	濃緑系
@ B	青系
@ N	濃紺系
@ P	紫系
@ M	赤紫系
@ K	黒野

本文部位用ツールバー④

■WEBフォントを活用した豊富な文字表現を可能にする。

デバイスやブラウザによりまちまちな標準フォントによる表示ではなく、全て同じ表現を可能にするWEBフォントを利用可能にしました。



文字装飾セット **書体+太さ+サイズのセット**

文字装飾タイプ01の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾01
 文字装飾タイプ02の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾02
 文字装飾タイプ03の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾03
 文字装飾タイプ04の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾04
 文字装飾タイプ05の指定はこの装飾です ABCDEFGH 文字装飾05
 文字装飾タイプ06の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾06
 文字装飾タイプ07の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾07
 文字装飾タイプ08の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾08
 文字装飾タイプ09の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾09
 文字装飾タイプ10の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾10
文字装飾タイプ11の指定はこの装飾です
ABCDEFGHI 文字装飾11
 文字装飾タイプ12の指定はこの装飾
 です ABCDEFGHI 文字装飾12
文字装飾タイプ13の指定はこの装飾
です ABCDEFGHI 文字装飾13
文字装飾タイプ14の指定はこ
の装飾です ABCDEFGHI 文字装飾14
 文字装飾タイプ15の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾15
 文字装飾タイプ16の指定はこ
 の装飾です ABCDEFGHI 文字装飾16
 文字装飾タイプ17の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾17
 文字装飾タイプ18の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾18
 文字装飾タイプ19の指定はこの装飾です ABCDEFGHI 文字装飾19

英文書体 **英数字の書体のみ**

noto sans japanese
 ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
 Gravitas One
ABCDEFGHIJ abcdefghij 123
 Cantata One
 ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
 Petrona
 ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
 Marcellus
 ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
 Ramaraja
 ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
 Oswald
 ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
 Anton
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
 Russo One
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
 Days One
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
 Homenaje
 ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
 Baloo Bhaina
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
 Passion One
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
 Oleo Script
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
 Playball
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
 Averia Libre
 ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
 Fredericka the Great
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890
 Marck Script
ABCDEFGHIJ abcdefghij 1234567890

文字サイズ

文字サイズ
 文字サイズ2
 文字サイズ3
 文字サイズ4
 文字サイズ5
 文字サイズ6
文字サイズ7

「設定された文字セット」及び「文字サイズ」で装飾された文字に対して、「文字色」「文字背景色」を施す事が出来ます。

装飾アイコンを使用して、二重の指定や入れ子の指定が可能。
 ※複雑な指定は、元に戻せない場合がありますので、HTMLソース画面で、修正するかソースを全消去してやり直して下さい。

本文部位用ツールバー⑤

■テキストに色や背景色を指定したり、リンクを設置する。

[本文]入力エリアには、本文 = テキストを装飾するためのツールバーアイコン群が表示されます。



リンク リンク解除

文字色 文字背景色

テキストのみコピー

「文字色」+「文字背景色」の二重囲いができます。

※三重以上の複雑な囲い指定は、ソースコードの乱れの元となりますのでご注意ください。



範囲指定した文字列に対して、文字自体に色を指定したり、その文字の背景に色をひくことができます。カラーパレットの中から色を指定します。
※解除する場合は「装飾の取り消し」アイコンで解除することが可能です。

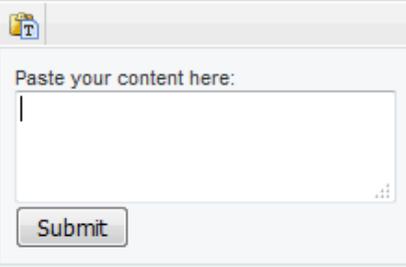
「文字背景色」は、インライン要素のため、文数分の横幅しか適応されません。蛍光ペンのようなマーカーに近い装飾です。

文字の背景に色を付ける。 文書の間にアクセントとして、背景色を設置可能。 文字の背景に色を付ける。

「文字背景色」を並べると下記のような表現が可能です。

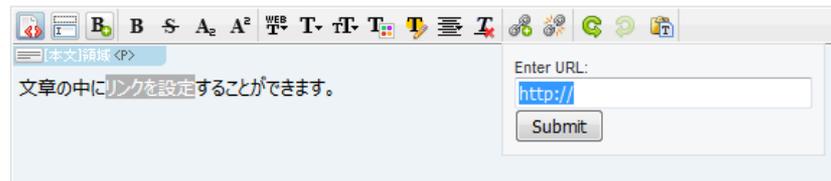
文字の背景に色を付ける。 文字の背景に色を付ける。

文書の間にアクセントとして、背景色を設置可能。



ブラウザの文字をコピーすると、付随するタグもコピーされるため、純粋なテキスト配列だけを編集エリアにコピーするためにこの「テキストのみコピー」の機能を使用して下さい。

リンク リンク解除



リンクさせたい文字列を選択し、「Enter URL」を入力することで、本文内にリンクを設置することができます。
※一度設置したリンクの範囲を「リンク解除」アイコンで解除することが可能です。

装飾の取り消し

何重にもなる複雑な装飾の囲い込みを指定の場合、「装飾の取り消し」を行ってもキレイに削除出来ない場合があります。その場合は、「HTMLソース画面」で、修正するか全消去して、やり直すことをお勧めします。
※不要なタグが残っていると、レイアウトが崩れる元となります。

本文部位用ツールバー⑥

■「文字色」「文字背景色」にCP記号を施す事で装飾を拡張する。

インライン要素の文字背景色の装飾をブロック要素に拡張して表現の幅を広げることができます。

文字色

文字背景色

にCP文法「■/□①～□⑨」を挿入しブロック要素で表現する。



通常はインライン要素のため
横幅は文字数分しかありません。

インライン要素である「文字背景色」は、文章を改行した場合に
横幅は文字数分しかありません。

文字の先頭にCP文法「■」を挿入する。

■ インライン要素である「文字背景色」は、文章を改行した場合に
横幅は文字数分しかありません。



CP記号「■」で文字背景色はブロック要素となり、横幅いっぱいになります。

インライン要素である「文字背景色」は、文章を改行した場合に
横幅は文字数分しかありません。

文字の先頭にCP文法「□①～□⑨」を挿入する。

□③ インライン要素である「文字背景色」は、文章を改行した場合に
横幅は文字数分しかありません。

インライン要素である「文字背景色」は、文章を改行した場合に
横幅は文字数分しかありません。

例:先頭に「□③」を挿入した場合の表現※薄い背景色の方がより効果があります。

文字間い野タイプ11の指定はこの装飾です

□①

文字間い野タイプ12の指定はこの装飾です

□②

文字間い野タイプ13の指定はこの装飾です

□③

文字間い野タイプ14の指定はこの装飾です

□④

文字間い野タイプ15の指定はこの装飾です

□⑤

文字間い野タイプ16の指定はこの装飾です

□⑥

文字間い野タイプ17の指定はこの装飾です

□⑦

文字間い野タイプ18の指定はこの装飾です

□⑧

文字間い野タイプ19の指定はこの装飾です

□⑨

**囲み装飾11～19の
装飾が文字背景色に
ミックスされて表示
されます。**



**囲み装飾11～19の指定+
文字背景色を同時に指定することで、同じ効果が生まれます。**

画像部位用ツールバー①

SEO効果の高い画像の上に文字を重ねるlayerBOXを実現。

装飾された文字を画像の上に配置する機能が、[画像]部位特有の機能として追加されます。



画像の上に文字BOX

指定された範囲の文字を画像の上に表示させる機能(layerBOX)

画像の上に文字表示と画像の下に文字表示の表現を混在させることが可能。

画像下の文章

※画像下の文章を入力して下さい。 ※基本的に制限はありません ※改行はそのまま反映されます

通常の入力の場合

画像の上に文字列を表示
画像加工ソフトで文字を画像として扱うのが一般的ですが、この機能を使用して文字列を画像の上に表示させれば、通常の文字としてSEOによる検索対象となります。

文字を複雑なデザイン加工を行うまでも無い場合や文字を適宜に入れ替えたい場合は「画像の上に文字BOX」を使用する事で、ブラウザ上で入れ替えが可能となります。



画像の上に文字列を表示
画像加工ソフトで文字を画像として扱うのが一般的ですが、この機能を使用して文字列を画像の上に表示させれば、通常の文字としてSEOによる検索対象となります。

文字を複雑なデザイン加工を行うまでも無い場合や文字を適宜に入れ替えたい場合は「画像の上に文字BOX」を使用する事で、ブラウザ上で入れ替えが可能となります。

「画像外先頭にBOX」を選択するとこの位置に文字を表示することができます。

画像外先頭に文字BOXを表示



エディタ内に「重ね領域」のlayerBOXが表示されます。

画像下の文章

※画像下の文章を入力して下さい。 ※基本的に制限はありません ※改行はそのまま反映されます

「重ね領域」<SPAN,layerbox>

画像の上に文字列を表示
画像加工ソフトで文字を画像として扱うのが一般的ですが、この機能を使用して文字列を画像の上に表示させれば、通常の文字としてSEOによる検索対象となります。

文字を複雑なデザイン加工を行うまでも無い場合や文字を適宜に入れ替えたい場合は「画像の上に文字BOX」を使用する事で、ブラウザ上で入れ替えが可能となります。

「重ね領域」の内外には文字装飾も可能です。

画像の上に文字列を表示
画像加工ソフトで文字を画像として扱うのが一般的ですが、この機能を使用して文字列を画像の上に表示させれば、通常の文字としてSEOによる検索対象となります。

layerBOXが生成されません。

画像に対して文字の位置や文字の背景の組み合わせで計9つの種類。

背景が透明

- ① 基点・上(背景透明)
- ② 基点・中央(背景透明)
- ③ 画像・下(背景透明)

背景が白半調

- ⑦ 基点・上(背景白半調)
- ⑧ 基点・中央(背景白半調)
- ⑨ 基点・下(背景白半調)

背景が黒半調

- ④ 基点・上(背景黒半調)
- ⑤ 基点・中央(背景黒半調)
- ⑥ 基点・下(背景黒半調)

文字を複雑なデザイン加工を行うまでも無い場合や文字を適宜に入れ替えたい場合は「画像の上に文字BOX」を使用する事で、ブラウザ上で入れ替えが可能となります。

「基点・下」の場合の位置

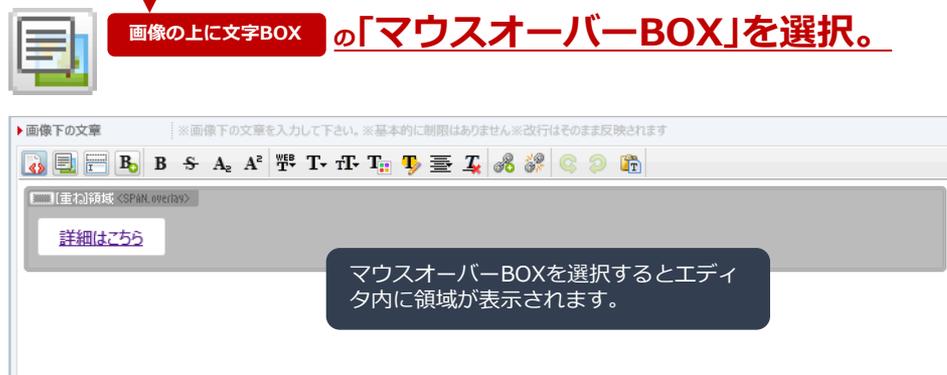
画像部位用ツールバー②

■ 画像にマウスオーバーした時、レイヤーを表示するoverlayを実現。

装飾された文字を画像にマウスオーバーした時に表示させる機能が、「画像」部位特有の機能として追加されます。



画像の上に文字BOX の「マウスオーバーBOX」を選択。



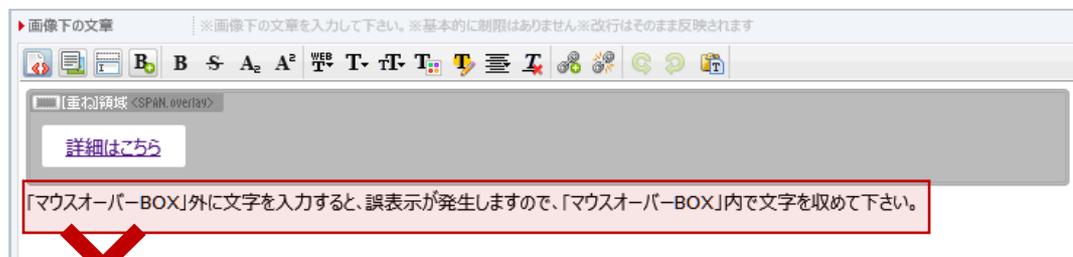
通常の状態
マウスオーバーしていない状態



マウスオーバーの状態
画像にマウスを当てた状態

使用上の注意

マウスオーバーBOXを挿入すると、領域外の文字が重なり合い、誤表示します!!



- 画像に対して、マウスオーバー機能は特殊です。
- この機能を使用する場合は、「マウスオーバーBOX」外に文字を入力しないで下さい。
 - 複数の「マウスオーバーBOX」を設定しないで下さい。
 - 「マウスオーバーBOX」内は、通常の文字装飾ができます。

文字は常に上下左右中央揃えとなります。



画像部位用CP文法①

■ CP文法[全①]～[全⑨]を挿入することで様々な枠装飾を表現

手間のかかる複雑なCSSによる枠装飾を簡単なCP文法で表現し、文字装飾も併用することが出来ます。



左記の枠一覧から対応する「全①」～「全⑨」のCP文法を先頭に挿入します。

※「キャプションあり」にした場合、この記号はサイト上では表示されません

全 は「おなじ」で変換される全角記号です。①～⑨も全角丸数字

■ CP文法[全①]～[全⑨]の各対応枠装飾一覧

<p>LayerBOX</p> <p>layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることが出来ます。</p> <p>画像キャプションをONにする。</p> <p>通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。</p> <p>全①</p>	<p>LayerBOX</p> <p>layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることが出来ます。</p> <p>画像キャプションをONにする。</p> <p>通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。</p> <p>全②</p>	<p>LayerBOX</p> <p>layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることが出来ます。</p> <p>画像キャプションをONにする。</p> <p>通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。</p> <p>全③</p>
<p>LayerBOX</p> <p>layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることが出来ます。</p> <p>画像キャプションをONにする。</p> <p>通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。</p> <p>全④</p>	<p>LayerBOX</p> <p>layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることが出来ます。</p> <p>画像キャプションをONにする。</p> <p>通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。</p> <p>全⑤</p>	<p>LayerBOX</p> <p>layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることが出来ます。</p> <p>画像キャプションをONにする。</p> <p>通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。</p> <p>全⑥</p>
<p>LayerBOX</p> <p>layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることが出来ます。</p> <p>画像キャプションをONにする。</p> <p>通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。</p> <p>全⑦</p>	<p>LayerBOX</p> <p>layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることが出来ます。</p> <p>画像キャプションをONにする。</p> <p>通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。</p> <p>全⑧</p>	<p>LayerBOX</p> <p>layerBOX機能を使用すると画像の上に文字を重ねることが出来ます。</p> <p>画像キャプションをONにする。</p> <p>通常の「画像下の文章」編集では、画像の下に文字を配置します。[本文]部位同様、文字に対して様々な装飾を施すことが出来ます。</p> <p>全⑨</p>

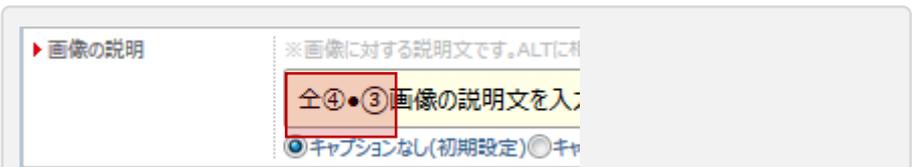
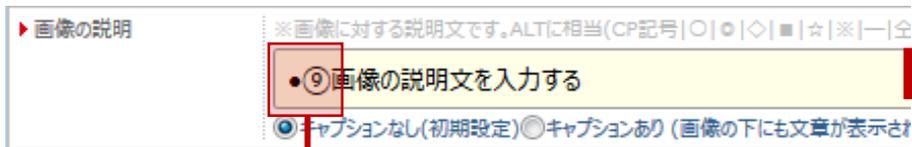
画像部位用CP文法②

■CP文法[◎○◇■●①～⑨]を挿入することで画像に様々な縁装飾を実現

手間のかかる複雑なCSSによる装飾を簡単なCP文法で実現し、文字装飾も併用することが出来ます。

■画像の縁を装飾する[CP文法]

「画像の説明」の入力欄の先導にCP記号(特殊記号)を一文字入れる事で
 画像周りに縁を付けたり、画像に角丸の処理(トリミング)を自動で行うことが出来ます。



「画像の縁装飾」と「画像の枠装飾」を入力すると
 「画像の枠装飾」が上書きされて画像の縁効果が消えますので注意して下さい。



■CP文法との画像の縁装飾一覧



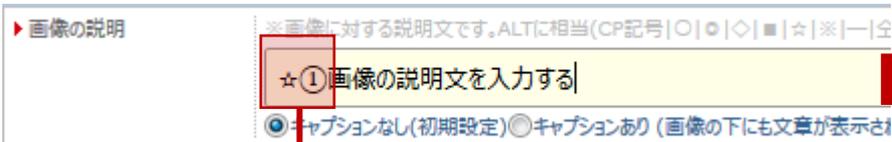
画像部位用CP文法③

■ CP文法[☆①・☆②] を挿入することで画像と文章を横並びレイアウトを実現

手間のかかる複雑なCSSによる枠装飾を簡単なCP文法で実現し、文字装飾も併用することが出来ます。

■ [画像] 部位内の画像と文章を横に並べる [CP文法]

本来[画像]部位内は、画像の下に文章が並び、一枚のカードのように機能します。一枚のカードにすることで部位の移動が楽になる便利な部位ですが、さらに便利な機能として、縦並びを横並びのカードとして機能させるのがこのCP文法です。



☆① 画像が左/文章が右

☆② 文章が左/画像が右

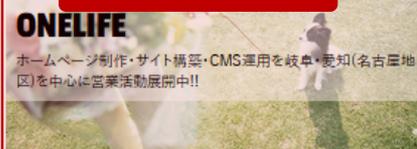


画像サイズ01の場合の例

企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売りに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカチは違います。「ホームページを作る」ことに四苦八苦しては、「利益を出す」ところまではなかなかいきません。あなたがやらなければならないことは、ただ一つ、「利益を出す」元を考えることです。ホームページを作る必要はありません。

☆①を指定

画像のサイズを1/2に縮小



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売りに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカチは違います。「ホームページを作る」ことに四苦八苦しては、「利益を出す」ところまではなかなかいきません。あなたがやらなければならないことは、ただ一つ、「利益を出す」元を考えることです。ホームページを作る必要はありません。

画像下の文章を右へ回り込み

「☆②」の場合は、左へ回り込みます。

横を全幅(100%)として、画像のサイズ指定により、画像と文章の比率が変わります。
※画像の上にある文字(layerBOX)は自動で画像と同じサイズになります。



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売りに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカチは違います。「ホームページを作る」ことに四苦八苦しては、「利益を出す」ところまではなかなかいきません。

初期の画像サイズ

画像サイズ01~02



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売りに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカチは違います。「ホームページを作る」ことに四苦八苦しては、「利益を出す」ところまではなかなかいきません。

画像サイズ03



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売りに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカチは違います。「ホームページを作る」ことに四苦八苦しては、「利益を出す」ところまではなかなかいきません。

画像サイズ04



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売りに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカチは違います。「ホームページを作る」ことに四苦八苦しては、「利益を出す」ところまではなかなかいきません。

画像サイズ05



企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売りに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカチは違います。「ホームページを作る」ことに四苦八苦しては、「利益を出す」ところまではなかなかいきません。あなたがやらなければならないことは、ただ一つ、「利益を出す」元を考えることです。ホームページを作る必要はありません。

画像サイズ06

画像サイズ06のみ、全幅ではなく、1/2の50%で表示されます。

企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売りに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカチは違います。「ホームページを作る」ことに四苦八苦しては、「利益を出す」ところまではなかなかいきません。



☆②を指定の場合

画像部位用CP文法④

■CP文法[★①・★②・★③]を挿入することで画像と文章の特殊レイアウトを実現
手間のかかる複雑なCSSによる装飾を簡単なCP文法で実現し、文字装飾も併用することが出来ます。

■[画像]部位内の画像と文章をずらして重ねる[CP文法]

layerBOX(画像の上に配置する文字)を画像とずらして重ねることでデザイン性のあるレイアウトを実現することが出来ます。

▶ 画像の説明

※画像に対する説明文です。ALTに相当(CP記号|○|◇|■|☆|※|一|全)

★① 画像の説明文を入力する

◎キャプションなし(初期設定) ●キャプションあり(画像の下にも文章が表示)

- ★① 画像が左のずらし重ね
- ★② 画像が右のずらし重ね
- ★③ 画像が中央のずらし重ね

ONELIFE
ホームページ制作・サイト構築・CMS運用を岐阜・愛知(名古屋地区)を中心に営業活動展開中!!

画像サイズ01の場合の例

★①を指定の場合(画像左)

企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売りに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業態形態によって「利益」のカタチは違います。「ホームページを作る」ことに四苦八苦しては、「利益を出す」ところまではなかなかいきません。あなたがやらなければならないことは、ただ一つ、「利益を出す」元を考えることです。ホームページを作る必要はありません。

画像のサイズを60%に縮小

layerBOXサイズを60%に縮小

ONELIFE
ホームページ制作・サイト構築・CMS運用を岐阜・愛知(名古屋地区)を中心に営業活動展開中!!

layerBOXサイズを60%に縮小

企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売りに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業態形態によって「利益」のカタチは違います。「ホームページを作る」ことに四苦八苦しては、「利益を出す」ところまではなかなかいきません。あなたがやらなければならないことは、ただ一つ、「利益を出す」元を考えることです。ホームページを作る必要はありません。

画像下の文章はそのまま

layerBOX60%と画像サイズ60%がずれて重なるレイアウト一覧

初期の画像サイズ・01

画像サイズ02

画像サイズ03

画像サイズ04

画像サイズ05

画像サイズ06のみ、全幅で画像が1/6で表示されます。

画像サイズ06

★②を指定の場合(画像右)

layerBOXは全幅100%として重なります。

ONELIFE
ホームページ制作・サイト構築・CMS運用を岐阜・愛知(名古屋地区)を中心に営業活動展開中!!

ONELIFE
ホームページ制作・サイト構築・CMS運用を岐阜・愛知(名古屋地区)を中心に営業活動展開中!!

★③を指定の場合(画像中央)

layerBOXは全幅100%として重なります。

ONELIFE
ホームページ制作・サイト構築・CMS運用を岐阜・愛知(名古屋地区)を中心に営業活動展開中!!

ONELIFE
ホームページ制作・サイト構築・CMS運用を岐阜・愛知(名古屋地区)を中心に営業活動展開中!!

画像部位用CP文法⑤

■ CP文法を3つ組み合わせて[画像]部位に複雑なデザインを施す。

手間のかかる複雑なCSSによる枠装飾を簡単なCP文法で実現し、文字装飾も併用することが出来ます。

■ 枠装飾10種(全①～⑨)をベースにして、色と配置をCP文法で組み合わせる。

▶ 画像の説明

※画像に対する説明文です。ALTに相当(CP記号|○|◇|■|☆|※|—|全①～全⑨|)

全④☆①@G contents player導入ガイド

●キャプションなし(初期設定) ●キャプションあり(画像の下にも文章が表示されます)

[画像]部位の枠	[画像]部位の枠用の色	layerBOX配置
無し 全① 全② 全③ 全④ 全⑤ 全⑥ 全⑦ 全⑧ 全⑨	無し @R @Y @G @D @B @N @P @M @K	無し ☆① ☆② ★① ★② ★③

ベースを決定

のどれか +

のどれか +

[@R]
 [画像]部位の色指定
 R Y G D B N P M K の9色
 全角文字の組み合わせ

- CP文法が何もない初期配置
- CP文法[全④]で枠装飾決定
- CP文法[@G]の色指定
- CP文法[☆①]を配置を決定

初期設定



最終装飾

contents player導入ガイド
 企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売上げに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカチは違います。「ホームページを作る」ことにより「利益」を上げることは、なかなかありません。あなたがやらなければならないことは、ただ一つ、「利益を出す」元を考えることです。ホームページを作る必要はありません。

contents player導入ガイド
 企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売上げに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカチは違います。「ホームページを作る」ことにより「利益」を上げることは、なかなかありません。あなたがやらなければならないことは、ただ一つ、「利益を出す」元を考えることです。ホームページを作る必要はありません。

contents player導入ガイド
 企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売上げに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカチは違います。「ホームページを作る」ことにより「利益」を上げることは、なかなかありません。あなたがやらなければならないことは、ただ一つ、「利益を出す」元を考えることです。ホームページを作る必要はありません。

contents player導入ガイド
 企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売上げに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカチは違います。「ホームページを作る」ことにより「利益」を上げることは、なかなかありません。あなたがやらなければならないことは、ただ一つ、「利益を出す」元を考えることです。ホームページを作る必要はありません。

「全④」「☆①」「@G」三種類を組み合わせることで、複雑なレイアウトデザインができます。
 ※CP文法の順番は、自由です。

画像部位用CP文法⑥

■ CP文法を2つ組み合わせて[画像]部位に複雑なデザインを施す。
 手間のかかる複雑なCSSによる枠装飾を簡単なCP文法で実現し、文字装飾も併用することが出来ます。

■ 画像枠 (◎○◇■●①~⑨)をベースにして、配置をCP文法で組み合わせる。



画像の縁	layerBOX配置
◎ ○ ◇ ■ ● ● ① ● ② ● ③ ● ④ ● ⑤ ● ⑥ ● ⑦ ● ⑧ ● ⑨	無し ☆ ① ☆ ② ★ ① ★ ② ★ ③

[注意]
 色指定のCP文法を挿入しても
 画像縁には、元々色情報が無い
 ため反映されません。

ベースを決定
 のどれか +

CP文法が何も無い初期配置

CP文法 [●⑧] で画像の縁決定

CP文法 [★①] で配置を指定



初期設定

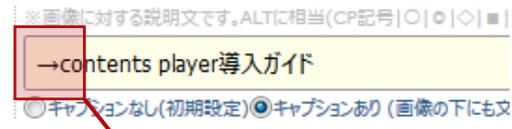


最終装飾



【●⑧】【★①】の二種類を組み合わせることで、
 複雑なレイアウトデザインができます。
 ※CP文法の順番は、自由です。

→
 [画像]部位の隙間に矢印を表示



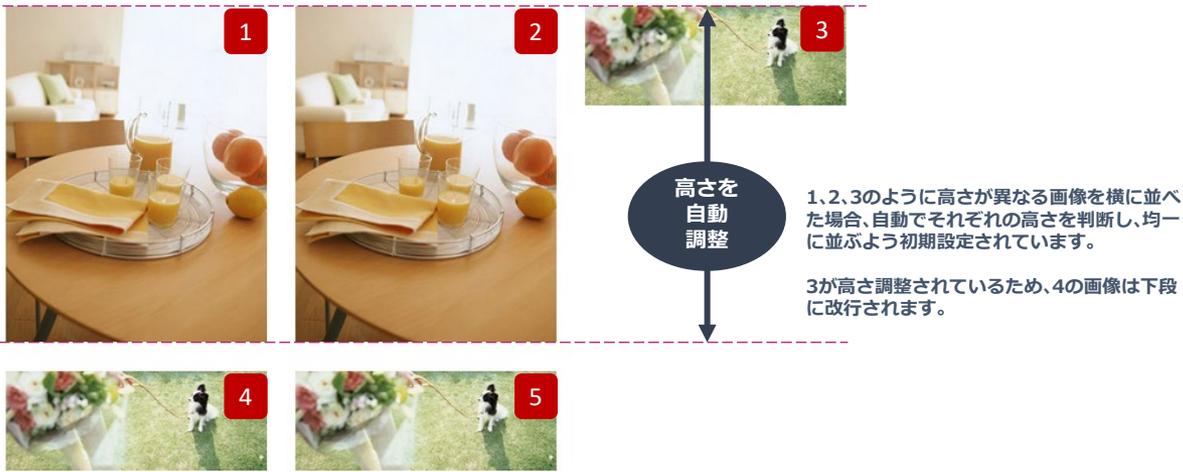
contents player導入ガイド
 企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカチは違います。

contents player導入ガイド
 企業にとっての利益はショッピングサイトのように直接的に売り上げに結びつくことばかりではありません。次の営業戦略のための人材確保(リクルート)・製品サービスのサポート、対する企業への業務案内、お客様の声を聞くための意見箱<企業<業務形態によって「利益」のカチは違います。

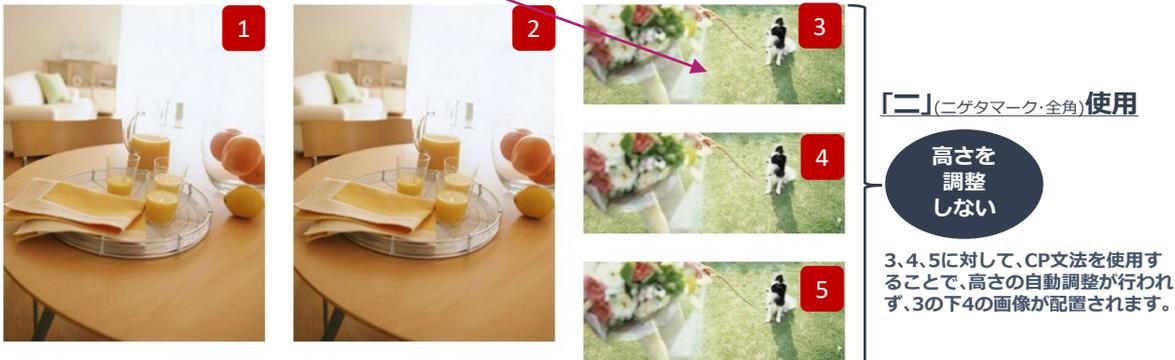
画像部位用CP文法⑦

■ CP文法で[画像]部位の高さを調整する。
 手間のかかる複雑なCSSによる装飾を簡単なCP文法で表現し、文字装飾も併用することが出来ます。

■ 画像枠の初期配列は自動で高さを調整します。



■ 画像枠の高さを調整しない場合は、CP文法の「二」(ニゲタマーク・全角)使用します。



タグ部位用ツールバー①

■(上級者向け)WYSIWYG機能の全てを網羅した高機能エディタ

[タグ]部位に表示されるツールは、あらゆる表現を可能にします。高機能なだけに取り扱いには注意が必要です。



[タグ]部位用エディタを使うための準備(各領域の確保)
 [タグ]部位は本来、HTMLのコードを直接入力するための領域です。そのためツールによる装飾機能を利用するためには、領域を確保しその中に内容を入れる必要があります。

見出・画像・本文などの入れる場合、各アイコンを使用するとエディタ内に領域の種類に応じて色分けされたBOXが表示され構造がわかりやすくなります。

汎用領域 領域の挿入

←[見出]部位の挿入をすると現れるBOX [見出]部位の挿入

←[本文]部位の挿入をすると現れるBOX [本文]部位の挿入

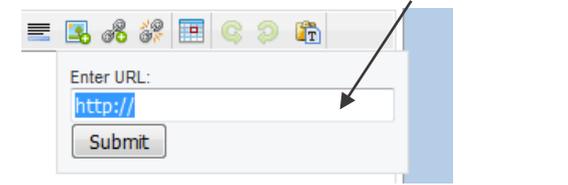
←[領域の挿入]で現れるBOX野中には、見出や本文のBOXを入れて複雑なレイアウトが可能になります。

画像の挿入
 領域が指定された場所に画像を挿入

[タグ]部位のオプションである「タグに対応するファイルをアップロードする」を利用し挿入したい画像をアップロードします。(最大4枚まで)



画像URLはアップロードした際に表示される、このURLをコピーして使用します。



タグ部位用ツールバー②

■(上級者向け)WYSIWYG機能の全てを網羅した高機能エディタ

[タグ]部位に表示されるツールは、あらゆる表現を可能にします。高機能なだけに取り扱いには注意が必要です。



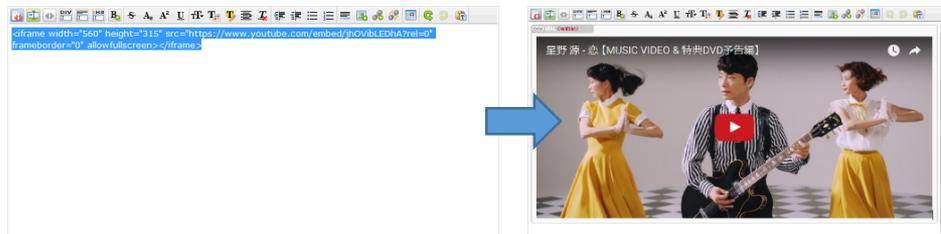
汎用領域
HTMLコードによるclass等を挿入するための領域確保の機能ため、理解できる方のみ使用して下さい。

領域の挿入
コンテンツの全幅に対して、**1/1・1/2・1/3・1/4・1/5・1/6**の横幅を持つ領域を確保します。
※[画像]部位の機能オプションである「画像装飾01～画像装飾06」と同等の機能です。



youtube及びgooglemapのスマホ対応タグの設置方法

- 1.Youtubeやgooglemapの<iframe>*** </iframe>を挿入後(必ず先に挿入)
- 2.アイコンを利用し「youtube領域の挿入」「googlemap領域の挿入」を行って下さい。



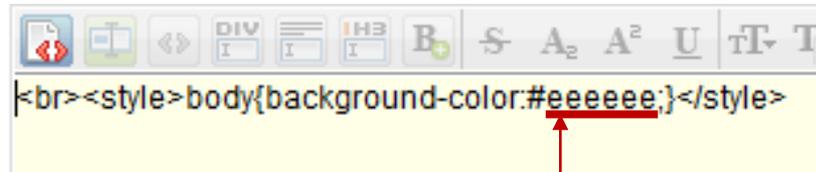
領域内に動画やマップが表示されれば正常です。

[本文]部位の挿入
[本文]部位の機能オプションである「本文装飾01～本文装飾06」と同等の機能です。

[見出]部位の挿入
[見出]部位の機能オプションである「見出装飾01～見出装飾06」と同等の機能です。

<style>の入力補助
ページ全体の背景色や各BOXの背景色を自由に設定するためのCSS補助機能です。
※初期値は#eaeaeaで薄いグレーとなっています。

- | | |
|---------------|---------------|
| ページ全体の背景色 | #subbox枠内の背景色 |
| #subbox全体の背景色 | #box1枠内の背景色 |
| #box1全体の背景色 | #box2枠内の背景色 |
| #box2全体の背景色 | #box3枠内の背景色 |
| #box3全体の背景色 | #box4枠内の背景色 |
| #box4全体の背景色 | |



HTMLソースコード画面で色指定部分を自由に変更して下さい。

※エディタ画面には表示されません。
※カラーコードは#を先頭にして6桁の英数字が並びます。

タグ部位用ツールバー③

■(上級者向け)WYSIWYG機能の全てを網羅した高機能エディタ

[タグ]部位に表示されるツールは、あらゆる表現を可能にします。高機能なだけに取り扱いには注意が必要です。



スライダー領域の挿入

① [スライダー領域の挿入]を行うと4つの領域が表示されます。この領域内に画像を入れます。

② 画像を挿入する位置にカーソル

③ [タグ]部位のオプションである「タグに対応するファイルをアップロードする」を利用し挿入したい画像をアップロードします。(最大4枚まで)

⑤ 画像を挿入されます

Slider ID	スライダーの動き
slider1	左から右へスライド(自動)
slider2	下から上へスライド(自動)
slider3	左から右へスライド(手動)

表の設定
簡易的な表を設置する機能

横: 7 縦: 3
決定

横列×縦列の数字入力画面

本来は、[表組]部位を使用して表を作成しますが、画像下の文章にワンポイントで表を差し込むための機能です。

表の装飾は、[表組]部位のように選べません。初期の灰色線の表となります。

アップロードされた画像のURLをコピーし、「画像挿入」アイコンのEnter URLを貼り付けます。

Enter URL:

 Submit

④ 参照... ファイルが選択されていません。

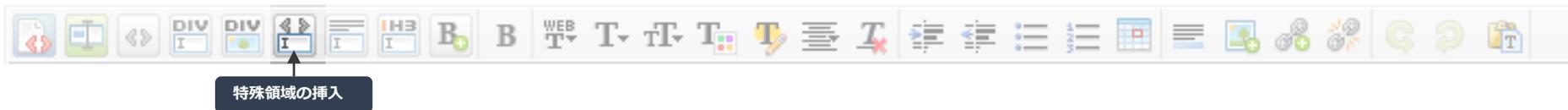
[DIV]領域を使用する上での注意

画像等を挿入する前に、領域内に改行や文字等がひとつでもあることを確認して下さい。無いとDIVの領域が確保されない場合があります。DIVの領域が消えないよう、文字をを入れ、挿入が終わったら、消して下さい。挿入した画像が文字の変わりとして認識され、DIVの領域は消えません。

タグ部位用ツールバー④

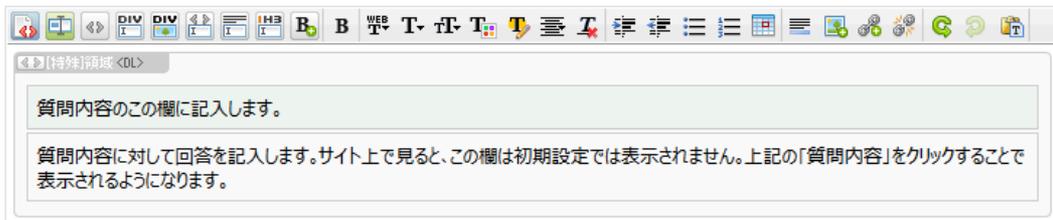
■(上級者向け)WYSIWYG機能の全てを網羅した高機能エディタ

[タグ]部位に表示されるツールは、あらゆる表現を可能にします。高機能なだけに取り扱いには注意が必要です。



特殊領域の挿入

特殊領域の挿入 アコーディオン機能の挿入



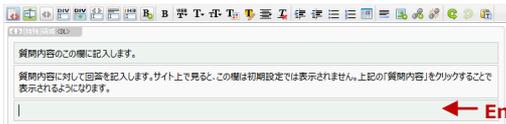
質問内容のこの欄に記入します。



クリックすると隠れた文字が表示されます。

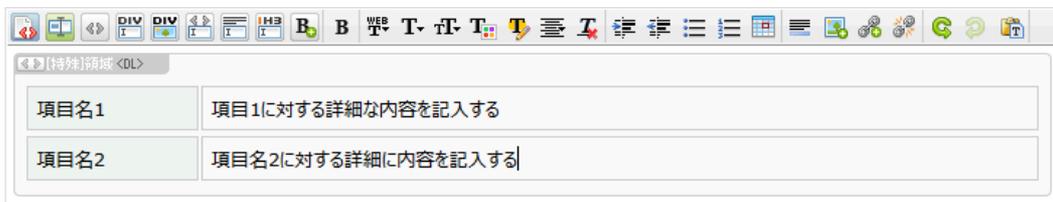
質問内容のこの欄に記入します。

質問内容に対して解答を記入します。サイト上で見ると、この欄は初期設定では表示されません。上記の「質問内容」をクリックすることで表示されるようになります。



← Enterを押すことで、質問欄が表示され、入力しEnterを押すと、回答欄が表示されます。

特殊領域の挿入 カスタムフィールドの挿入



項目名と内容を頭揃えて揃えるフィールドを生成します。

項目名1 項目1に対する詳細な内容を記入する

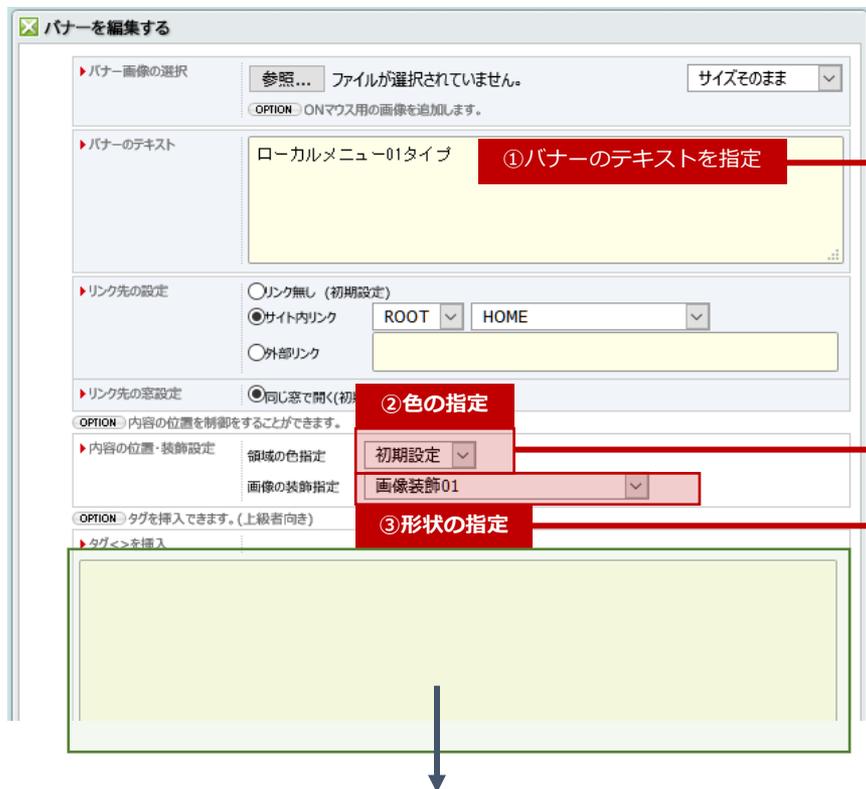
項目名2 項目名2に対する詳細に内容を記入する

Enterを押すことで、項目欄が表示され、入力しEnterを押すと、内容欄が表示されます。

[メニュー関連] サイドメニュー(左naviのリンクボタン)の装飾の仕方①

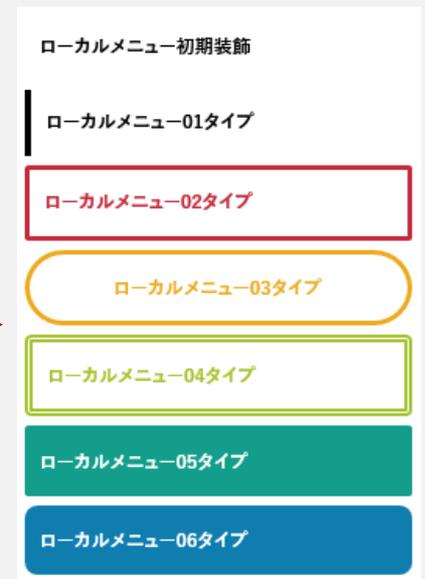
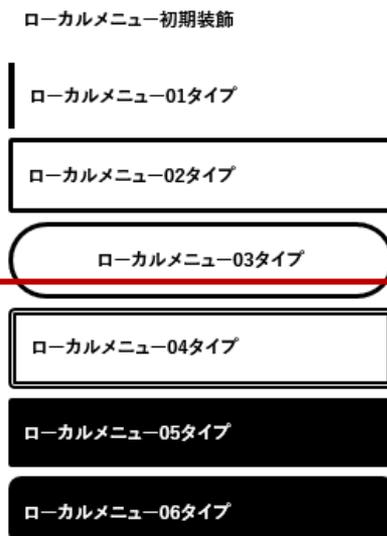
■ 文字のみの場合のサイドメニュー(シンプルな方法)

サイトの左側に位置する「サイドメニュー」は、サイト内コンテンツへの導線を作る重要なパーツです。目的に応じて装飾を施して下さい。



①文字(バナーのテキスト)
③形(画像の装飾)を指定して
メニューを装飾する。
※初期装飾には、形状がありません。

色を変更する場合は、②色(領域の色)
を指定する。



「タグ<>を挿入」を利用する

①バナーのテキストに続く文章を追加する場合に使用する利用域です。HTMLタグが利用できるため自由度は高くなります。

- 他のサービスで吐き出されたタグをそのまま貼り付けて利用できます。(SNSや広告用バナータグ等)
- 簡単にに文章を入れる方法は、<p> 入れたい文章 </p>でくり、挿入します。

[メニュー関連] サイドメニュー(左naviのリンクボタン)の装飾の仕方②

■ サイドメニューを画像に置き換える(シンプルな方法)

「サイドメニューを編集する」で画像を登録した場合、「バナーのテキスト」は自動でALTタグ(画像をマウスオーバーした時に表示される文字)に変換されますので注意して下さい。

① 画像を登録

② 文字を指定

画像があると②文字の指定はALTタグに変わり、サイト上には、表示されません。

画像がある場合、色と形は無視されます。

画像がある場合、「バナーのテキスト」の文字は表示されませんので、「タグを挿入」を利用して文章を入力します。

CP文法が無い、通常状態



「バナーを編集する」画面で、画像の下に文章を入れたい場合は、OPTIONの「タグを挿入」に入力します。

CP文法を利用した画像サイドメニュー

☆①ローカルメニュー-01タイプ

CP文法を挿入

CP文法「☆①」を挿入

画像を40%に縮小し、左に配置、文字回り込み



「バナーを編集する」画面で、画像の下に文章を入れたい場合は、OPTIONの「タグを挿入」に入力します。

CP文法「☆②」を挿入

画像を40%に縮小し、右に配置、文字回り込み



「バナーを編集する」画面で、画像の下に文章を入れたい場合は、OPTIONの「タグを挿入」に入力します。

[メニュー関連] サイドメニュー(左naviのリンクボタン)の装飾の仕方③

■ サイドメニューに画像付きのボタン風に置き換える(拡張機能)

画像をアイコン化するバリエーションのひとつとして、周りに罫線を配置し、ボタン風の変換する機能です。

① CP文法を挿入 CP文法「//①」(全角)を挿入

② 色の指定

③ 形状の指定

「バナーを編集する」画面で、画像の下に文章を入れたい場合は、OPTIONの「タグを挿入」に入力します。

画像がある場合、「バナーのテキスト」の文字は表示されませんので、「タグを挿入」を利用して文章を入力します。

CP文法「□」で、②③の指定が初期の場合

「バナーを編集する」画面で、画像の下に文章を入れたい場合は、OPTIONの「タグを挿入」に入力します。

指定する場合の注意

③形状「画像の装飾指定」が、初期及び画像装飾01～04の場合、②の色「領域の色指定」を行っても、変化はありません。

②の色「領域の色指定」を、ボタンの背景色として有効にするには、③の形状「画像の装飾指定」を05と06に指定した場合のみです。

CP文法「□」を利用したボタン作成 具体例

内容の位置・装飾設定

領域の色指定 黄色

画像の装飾指定 画像装飾05

「バナーを編集する」画面で、画像の下に文章を入れたい場合は、OPTIONの「タグを挿入」に入力します。

予約された<p class="text">とを利用し、ボタンにリンクの設定をした場合の具体例です。

タグ<>を挿入

```
<p class="text">バナーにリンクを設置</p>
<span>説明する文章を入力する</span>
</p>
```

<p>
説明する文章を入力する
バナーにリンクを設置
</p>

バナーにリンクを設置
説明する文章を入力する

[メニュー関連]CP文法によるローカルメニューの特殊装飾

■ 自動配列されるローカルメニューのワンポイントアイコン化のCP文法

サイト構成図で第二階層に位置づけられたページは、親である第一階層を基準にして、自動でローカルメニューが表示されます。

自動生成されるため、通常は装飾不可能ですが、CP文法である「→ ← ↑ ↓」(全角矢印)を使用することでアイコンの装飾をする事が出来ます。

第一階層

- 公開中

メニューテスト | sunmenu-5

第二階層(ローカルメニュー)

- column3テスト
- outsideページ
- 各種テスト1
- 各種テスト2
- ←各種テスト3
- ↑各種テスト4
- ↓各種テスト5
- 各種テスト6
- 各種テスト7

メニューに表示させたくないページはこの位置に配置してください
 Local Navi (中メニュー)に表示されるページはこの位置に配置してください
 Global Navi (大メニュー)に表示されるページはこの位置に配置してください

チェックボックスを利用して複数ページ対しての処理を行うことができます。

手順 各ページのページのラベルを設定する画面で「ページのラベル」にCP文法を挿入

ページ情報 ページのラベルを設定する

ページのラベル

→各種テスト2

BOXのレイアウト

base column3 outside

内容を反映し実行する 編集を取り消して閉じる

アイコン化するためのCP文法(全角矢印)



各種テスト1 CP文法が無い場合

▶ 各種テスト2

✓ 各種テスト3

⚙ 各種テスト4

📄 各種テスト5

各種テスト6

CP文法がある場合は、階層が一つ下がったように表示されます。

【上級機能】タグによる特殊機能① ●指定されたタグを利用する事で、特殊なコンテンツ表現を可能にします。

■コンテンツスライダー機能 (画像スライダー機能を応用したコンテンツ版機能)

通常の部位編集で作られた複数の部位をひとかたまりにして、かたまりごとに横スライドさせることが出来ます。

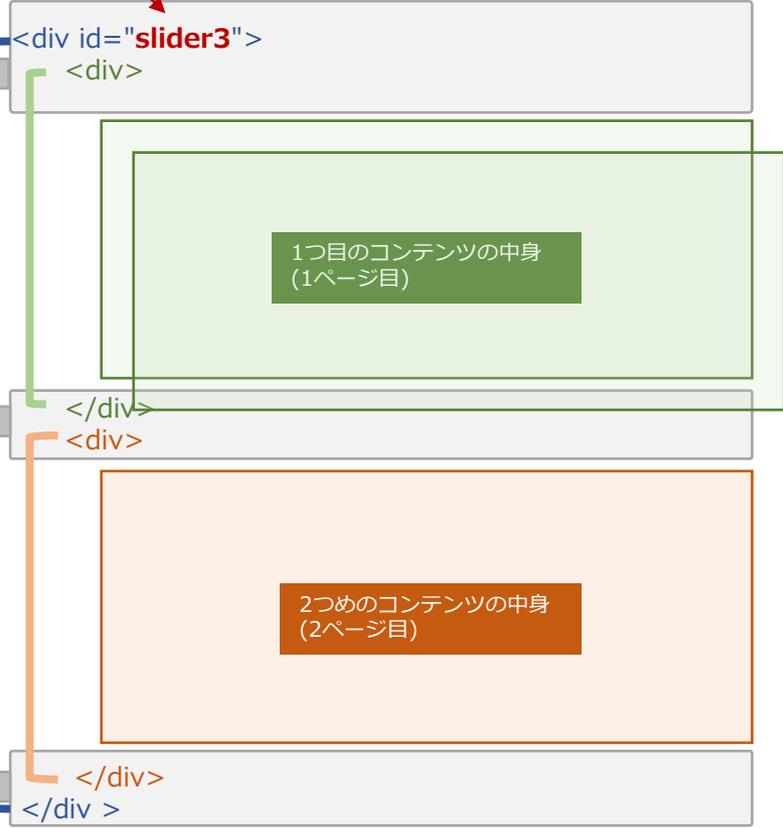
スライダーの挙動について
※画像スライダーと同じ

Slider ID	スライダーの動き
slider1	左から右へスライド(自動)
slider2	下から上へスライド(自動)
slider3	左から右へスライド(手動)

- 手順 1** コンテンツスライダーを使用する宣言分
※スライドさせるコンテンツ全体を<div id="slider●">で始め、必ず</div>で終了宣言します。
- 手順 2** スライドさせる一つの固まりを作る。
<div>で始め</div>で終了宣言してください。
<div></div>で囲まれた部位の固まり(スライドさせるひとかたまり、ページ)は、複数作成する事ができます。

実際の部位配列をサンプルとして、タグの意味を理解して下さい。

部位	部位の内容を簡易表示 / 部位の編集をする	操作
タグ	<div id="slider3"> <div>	複製
IAA見出し	コンテンツスライダーのテストです。 部位はいくつでも配置可能 1つ目の中身	複製 削除
画像	column12 image	複製 削除
本文	本文の最後に一行のリンクを設定することができます。(関連リンクや参照URL等に適用できます)本文の最後に一行のリンクを設定することができます。(関連リンクや参照URL等に適用できます)本文の最後に一行のリンクを設定することができます。(関連リンクや参照URL等に適用できます)	複製 削除
表組	縦(行)2×横(列)2	複製 削除
タグ	</div></div>	複製
IAA見出し	2スライドショーのテストです。 部位はいくつでも配置可能 2つ目の中身	複製
画像	column8 image	複製 削除
画像	column8 image	複製 削除
本文	本文の最後に一行のリンクを設定することができます。(関連リンクや参照URL等に適用できます)本文の最後に一行のリンクを設定することができます。(関連リンクや参照URL等に適用できます)本文の最後に一行のリンクを設定することができます。(関連リンクや参照URL等に適用できます)	複製 削除
タグ	</div></div>	複製 削除



注意
複数のページをスライドさせる場合、コンテンツ量が一番多いページの高さに自動で固定されます。部位の数やコンテンツ量を調整して、無駄な余白を出さないようにするのがポイントです。

タグ [上級機能] タグによるの特殊機能② ● 指定されたタグを利用する事で、特殊なコンテンツ表現を可能にします。

■ Font Awesome採用/アイコンタグの設置方法

コンテンツの表現力を高めるため外部のアイコンライブラリーFont Awesomeにある600以上のアイコンが利用可能です。

手順 1 アイコンライブラリーサイト「Font Awesome」にアクセス
<https://fontawesome.com/v4.7.0/icons/>

手順 2 使用したいアイコンを選択してクリック

» angle-double-right	↗ angle-double-up
> angle-right	^ angle-up
⊙ arrow-circle-down	⊙ arrow-circle-o-left
⊙ arrow-circle-right	⊙ arrow-circle-up
➔ arrow-right	↑ arrow-up

手順 3 アイコン詳細ページからそのアイコン表示用タグをコピー

After you get up and running, you can place Font Awesome icons just about anywhere with the `<i>` tag:

```
<i class="fa fa-arrow-circle-right" aria-hidden="true"></i>
```

タグをコピー `<i class="fa fa-arrow-circle-right" aria-hidden="true"></i>`

Looking for more? Check out the examples.

➔ スマホ時代のホームページ制作・サイトを活用した経営アイデアは、運用のプロにお任せください。岐阜全域及び名古屋を中心とした愛知で、ホームページ制作・ホームページ運用をお考えの方。

`<i class="fa fa-arrow-circle-right fa-4x"></i>`

Larger Icons
 Font Awesome専用サイズ指定可能

- fa-lg
- fa-2x
- fa-3x
- fa-4x
- fa-5x

手順 5 サイズを拡張する場合は...

手順 4 [本文][画像][表組]部位のテキストエリアに挿入

[新機能]テンプレートを編集する機能 ●あらゆるデバイスに対応したコンテンツプレイヤー専用パーツを入れ替えます。

■サイトの文字や背景、表や囲み罫等のCSSを自由に変更

様々な大きさや比率に対応しなければならないスマホには、画像のみで作られたデザインは不向きです。コンテンツプレイヤーでは、これらのパーツを全て可変可能なCSSであらかじめ準備しました。

**ROOT及びグループごとに
変更可能です。**



手順 1 初期値に戻す場合は、00:デザイン用テンプレート(F01)で最新版に適用して下さい。

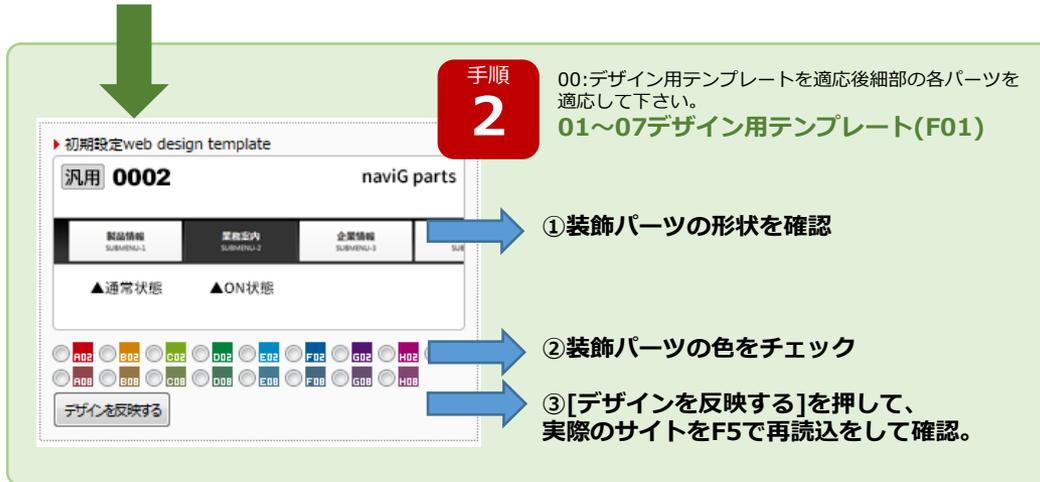
■適応済みCSSを確認する

「サイトテンプレートを編集する」で変更されたCSSを実際のサイトで確認することが出来ますので、ページを編集する際にご利用下さい。

<http://契約ドメイン名/グループ名/cp.html>

グループが無い場合(ROOTのみ使用)
<http://契約ドメイン名/cp.html>
となります。

※このページは検索されないようになっています。



手順 2 00:デザイン用テンプレートを適用後細部の各パーツを適用して下さい。
01~07デザイン用テンプレート(F01)

エディタ使用上の注意①

■ (上級者向け)WYSIWYG機能は、HTML生成補助ツール

難しいHTMLタグをアイコン一つで挿入する補助機能のため、複雑な入れ子状態のタグ指定は、時として思う通りになりません。

■ 画像の上に色指定した文字を表示するlayerboxの挿入の仕方



解説1

●画像下の文章を画像の上ののせるlayerboxを指定した場合は、下記のような赤字のタグが挿入されます。

```
<span class="layerbox lcen lbgb">[画像]部位の……SEOにも有効です。</span>
```



●文字が黒のため、白文字にして見やすくするためには、通常では、文字範囲を指定して文字色を指定しますが、HTML配列のルール上、このままだと、色指定(緑タグ)がレイアウト指定(赤タグ)の外にくられて正常に表示されません。

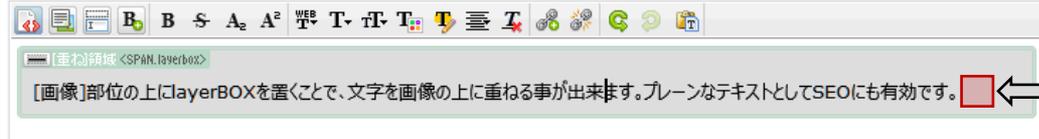
✗

```
<span style="color: rgb(255, 255, 255);"><span class="layerbox lcen lbgb">[画像]部位の……SEOにも有効です。</span></span>
```

○

```
<span class="layerbox lcen lbgb"><span style="color: rgb(255, 255, 255);"> [画像]部位の……SEOにも有効です。</span></span>
```

解説2



●layerBOXを指定した後、中の文章の最後にエンターキーを挿入して、文字の色指定を行ってください。レイアウト指定(赤タグ)色指定(緑タグ)の順番が変わり正常に表示されます。

文章の改行位置や最後にエンターキーを挿入